

# スーパーコンピュータによる地球環境研究発表会(第8回) プログラム

日時：平成12年9月18日(月) 10:00 ~ 17:30

場所：国立環境研究所中会議室

- 10:00 ~ 10:10 開会挨拶(国立環境研究所長 大井玄)
- 10:10 ~ 10:30 アジア縁辺海と太平洋との海水、物質交換  
北村佳照<sup>1</sup>, 小畑淳<sup>1</sup>, 原島省<sup>2</sup> (<sup>1</sup> 気象研究所, <sup>2</sup> 国立環境研究所)
- 10:30 ~ 10:50 崩壊する気液界面を通してのCO<sub>2</sub>輸送に及ぼす気泡の効果  
小森悟(京都大学)
- 10:50 ~ 11:00 休憩
- 11:00 ~ 11:20 大気海洋結合モデルによる最終氷期のシミュレーション  
鬼頭昭雄, 野田彰, 行本誠史, 村上茂教(気象研究所)
- 11:20 ~ 11:40 灰色大気に覆われた惑星の全球凍結条件  
石渡正樹(北海道大学)
- 11:40 ~ 12:00 水惑星GCMによる暖水域応答実験：アンサンブルを用いた循環構造の抽出  
林祥介<sup>1</sup>, 竹広真一<sup>2</sup> (<sup>1</sup> 北海道大学, <sup>2</sup> 九州大学)
- 12:00 ~ 14:00 昼休み
- 13:00 ~ 14:00 スーパーコンピュータ関連研究ステアリンググループ委員会(所長応接室)
- 14:00 ~ 14:20 CCSR/NIES 3次元化学モデルの開発  
秋吉英治<sup>1</sup>, 永島達也<sup>2</sup>, 中元美和<sup>2</sup>, 滝川雅之<sup>2</sup>, 高橋正明<sup>2</sup> (<sup>1</sup> 国立環境研究所, <sup>2</sup> 東京大学気候システム研究センター)
- 14:20 ~ 14:50 IPCC第三次評価報告書に関連した気候感度実験  
野田彰, 行本誠史, 前田修平, 鬼頭昭雄(気象研究所)
- 14:50 ~ 15:10 CCSR/NIES AGCMによる1998年夏のアジアモンスーンのシミュレーション  
木本昌秀, 沈学順(東京大学, 現在高度情報科学技術研究機構)
- 15:10 ~ 15:30 多種類のエアロゾルによる気候影響を考慮した場合のIPCC SRESシナリオに基づく将来の気候変化見通し実験  
野沢徹<sup>1</sup>, 神沢博<sup>1</sup>, 高藪縁<sup>1\*</sup>, 菅田誠治<sup>1</sup>, 江守正多<sup>1</sup>, 日暮明子<sup>1</sup>, 高田久美子<sup>1\*\*</sup>, 沼口敦<sup>3</sup>, 阿部彩子<sup>2</sup>, 木本昌秀<sup>2</sup> (<sup>1</sup> 国立環境研究所, <sup>2</sup> 東京大学, <sup>3</sup> 北海道大学, \*現在東京大学, \*\*現在地球フロンティア研究システム)
- 15:30 ~ 15:40 休憩
- 15:40 ~ 16:00 Modeling the global transport of atmospheric CO<sub>2</sub> with a Transcom3 experimental protocol  
Shamil Maksyutov, 井上元(国立環境研究所, 現在地球フロンティア研究システム)
- 16:00 ~ 16:50 Computational design of a global-through-urban scale air pollution/weather forecast model and application to the SARMAP field campaign  
Mark Z. Jacobson (Stanford University, USA)
- 16:50 ~ 17:20 スーパーコンピュータの現状と将来  
渡辺貞(NEC)
- 17:20 ~ 17:30 閉会挨拶(国立環境研究所地球環境研究センター長 合志陽一)